

平成28年度
「IoTを活用した新ビジネス創出推進事業
(ビッグデータを活用した新指標開発事業)」

企画提案書(詳細版)

平成28年12月〇日
〇〇〇〇株式会社

1. 事業実施内容・方法

【1.1 事業実施内容】

記述内容

- 本事業の目的等について、募集要領を踏まえて具体的に記述すること。
- 本事業の内容について、募集要領を踏まえて具体的に記述すること。
- 募集要領に提示した内容以外に、本事業を効果的・効率的に実施するための新たな提案がある場合、その内容を具体的に記述すること。

- 本事業の目的・目標等

- 本事業の内容

- 本事業を効果的・効率的に実施するための新たな提案

【基礎点評価の観点】

- ・本事業の目的を理解しているか。
- ・本事業の内容を正しく理解しているか。
- ・本事業の目的・内容を踏まえた上で、事業内容や取りまとめる項目等の基本の方針を具体的に示しているか。

【加点点評価の観点】

- ・具体的かつ詳細か。
- ・募集要領に示した目的・内容の他に、本事業を効率的・効果的に実施するための新たな提案がなされているか。
- ・提案の内容は、本事業目的を達成する上で、有効かつ妥当なものであるか。

【1.2 事業実施方法】

記述内容

- 実施方法及び実施結果のとりまとめ方法について、募集要領を踏まえて具体的に記述すること。
- 募集要領に提示した事業実施方法以外に、本事業を効果的・効率的に実施するための新たな提案がある場合、その内容を具体的に記述すること。
- 事業の実施方法は、実現可能なものとする。

■ 実施方法及び実施結果のとりまとめ方法

■ 募集要領に提示した事業実施方法以外の、本事業を効果的・効率的に実施するための新たな提案

【基礎点評価の観点】

- ・本事業の目的・内容を正しく理解した上で、整合性のある実施方法を提案しているか。
- ・実証事業の成果の得られる時期を明確にしているか。
- ・実施結果のとりまとめ方法について、事業の目的・内容と整合性のあるものを提案しているか。

【加点点評価の観点】

- ・具体的かつ詳細であって確実性の高いものか。
- ・募集要領に提示した事業実施方法以外に、本事業を効果的・効率的に実施するための新たな提案がなされているか。
- ・再委託事業者の選定において、競争性・透明性確保に向けた提案をしているか。
- ・提案の内容は、本事業目的を達成する上で、有効かつ妥当なものであるか。

2. 事業実施計画

【2.1 事業実施計画】

記述内容

- 事業実施計画(スケジュール)は経済産業省の示す要件を満し、その内容が妥当かつ現実的なものとする。
- 経済産業省との打合せ、定期的な報告を意識した作業計画とすること。
- 事業実施計画(スケジュール)に、事業を適切に実施する根拠(人員、手順等)を示すこと。
- 事業実施手順について事業を効率的に実施するための工夫を示すこと。

■ 事業実施計画

■ 事業実施計画

(以下の項目等を含めて記述)

- 事業実施内容、担当者、開始日、終了日、作成資料名、マイルストーン

作業ID			作業項目			作業内容	担当	開始日	終了日	作成資料	平成〇〇年〇月				〇月			
大分類	中分類	小分類	大分類	中分類	小分類						4	11	18	25	6	13	20	27
100			●●●●●●															
	111			XXXX														
		XXX			●●●													
		XXX			●●													
120				□□□□														
					●●													
					●●													
130				△△△△														
					●●													
					●●													

記述例

【基礎点評価の観点】

- ・具体的な作業計画が提案されているか。
- ・事業実施計画(スケジュール)に経済産業省の示す要件が満たされているか、その内容は妥当かつ現実的か。

【加点評価の観点】

- ・効果的な経済産業省との打合せ、定期的な報告を意識した作業計画が提案されているか。
- ・事業実施計画(スケジュール)に、事業を適切に実施する根拠(人員、手順等)が示されているか。
- ・事業実施手順について事業を効率的に実施するための工夫が示されているか。

■ 事業を効率的に実施するための工夫

- ・過去XXXにおいて利用したスケジュールをテンプレートにしてスケジュールを作成した。

- ・.....
- ・.....

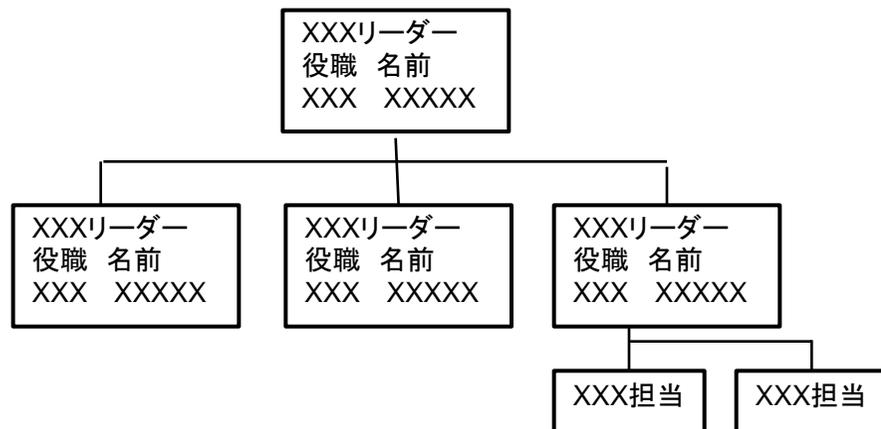
3. 事業実施能力

【3.1 実施体制】

記述内容

- 事業の体制図及び役割が、事業内容と整合していること。
- 実施体制図には、担当者の氏名、役職、役割分担等を記述すること。
- POS、SNS、IoT等ビッグデータ、AI、及びIT分野等の専門知識を有する人材が内部に確保出来る、又はその為の体制が組めていること。
- 再委託事業者の事業管理を行うに際し、適切な会計管理及び指導が出来る専門知識を有する人材が内部に確保出来る、又はその為の体制が組めていること。
- 評価委員会、有識者検討委員会を設置・運営し、関係する分野における適切な委員を招集出来る優れた人材ネットワークを有していること。
- 担当者の業務が重複している場合、管理者等が相互調整できる体制・分担となっていること。
- 本事業に当たっての人員補助などバックアップ体制を示すこと。
- 経済産業省からの要望等に迅速・柔軟に対応できる体制が備わっていること。

■ 実施体制図(再委託がある場合は再委託先も含む)



※ さらに追加的な内容がある場合は、「添付資料」として添付。

■ 役割分担

- 各チームの主な役割分担
- 各チームの担当者数
- 提案書に別途含める実務担当者の略歴への参照 等

記述例

【基礎点評価の観点】

- 事業の体制図及び役割が、事業内容と整合しているか。
- 実施体制図には、氏名、役職、役割分担等が明確に示されているか。

【加点評価の観点】

- POS、SNS、IoT等ビッグデータ、AI、及びIT分野等の専門知識を有する人材が内部に確保出来る、又はその為の体制が組めているか。
- 再委託事業者の事業管理を行うに際し、適切な会計管理及び指導が出来る専門知識を有する人材が内部に確保出来る、又はその為の体制が組めているか。
- 評価委員会、有識者検討委員会を設置・運営し、関係する分野における適切な委員を招集出来る優れた人材ネットワークを有しているか。
- 担当者の業務が重複している場合、管理者等が相互調整できる体制・分担となっているか。
- 本事業に当たっての人員補助など確実性の高いバックアップ体制が示されているか。
- 経済産業省からの要望等に迅速・柔軟に対応できる体制が備わっているか。

【3.2 組織としての専門性】

記述内容

- 組織として事業内容に関する専門知識・ノウハウ等の蓄積があること。
- 組織として事業内容に活かされる専門知識・ノウハウ等の蓄積があること。
- 組織として独自の知見・ネットワークや優れた情報処理能力を有していること(想定される専門家がいない場合には、必ず記載すること)。

■ 専門知識、ノウハウ

.....

- 提案書に別途含める、XXXXXXの参照 等

※ さらに追加的な内容がある場合は、「添付資料」として添付。

■ 組織としてのネットワーク及び情報処理能力について

.....

- 提案書に別途含める、XXXXXXの参照 等

※ さらに追加的な内容がある場合は、「添付資料」として添付。

【加点评価の観点】

- 組織として事業内容に関する専門知識・ノウハウ等の蓄積があるか。
- 組織として独自の知見、強固なネットワークや優れた情報処理能力を有しているか。

【3.3 事業従事予定者の専門性】

記述内容

- 事業従事予定者に、事業内容に関する専門知識・ノウハウ等の蓄積があること。
- 事業従事予定者に、事業内容に活かされる専門知識・ノウハウ等の蓄積があること。

■ 業務担当者名

(以下の項目等を含めて記述)

- ・部署、役職
- ・予定担当者
- ・役割
- ・業務経験
- ・略歴・保有スキル・専門知識等
- ・過去の実績

■ 業務担当者名

(以下の項目等を含めて記述)

- ・部署、役職
- ・予定担当者
- ・役割
- ・業務経験
- ・略歴・保有スキル・専門知識等
- ・過去の実績

※ さらに追加的な内容がある場合は、「添付資料」として添付。

【加点評価の観点】

- ・事業従事予定者に、事業内容に関する専門知識・ノウハウ等の蓄積があるか。
- ・事業従事予定者に、事業内容に活かされる専門知識・ノウハウ等の蓄積があるか。

【3.4 事業執行のための経営基盤・管理体制】

記述内容

- 事業遂行のための経営基盤を有していること。
- 支出に係る証拠書類等の整理・保管体制等を有していること。
- 事業遂行に必要な情報セキュリティ体制を有していること。

■ 経営基盤について

■ 資金の状況

.....。

■ 管理体制について

.....。

.....。

■ 情報セキュリティ体制について

.....。

.....。

【基礎点評価の観点】

- ・事業遂行のための経営基盤を有しているか。
- ・支出に係る証拠書類等の整理・保管体制等を有しているか。
- ・事業遂行に必要な情報セキュリティ体制を有しているか。

【3.5 ワークライフ・バランスの推進状況】

記述内容

- 女性活躍推進法*1、次世代法*2、若者雇用促進法*3の何れかに基づく各種認定を取得していること。

■ 女性活躍推進法に基づく認定状況について。

-
-

*1「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（平成27年法律第64号）」

*2「次世代育成支援対策推進法（平成15年法律第120号）」

*3「青少年の雇用の促進等に関する法律（昭和45年法律第98号）」

■ 次世代法に基づく認定状況について。

-
-

■ 若者雇用促進法に基づく認定状況について。

-
-

【加点評価の観点】

- ・女性活躍推進法に基づく認定（えるぼし認定企業）を取得しているか
 - 1段階目（2）
 - 2段階目（4）
 - 3段階目（6）
 - 行動計画（1）
- ・次世代法に基づく認定（くるみん認定企業・プラチナくるみん認定企業）を取得しているか
 - くるみん（2）
 - プラチナくるみん（4）
- ・若者雇用促進法に基づく認定（ユースエール認定企業）を取得しているか（4）

※複数の認定等が該当する場合、最も配点が高い区分により加点。

4.事業実施に係る工数及び総額

【4.1事業実施に係る工数】

記述内容

- 「2.1 事業実施計画」にて提案した事業実施方法を実現するために必要な工数を、募集要領における業務の中項目単位で事業従事予定者のクラス別(主任研究員、研究者等)の工数を記述すること。

【契約件名】見積もり詳細

記述例

業務				担当者のクラス別工数(人月)/月				工数 (業務中項目 単位)
#	大項目	#	中項目	XXXX	XXX	XXX	XXX	
(1)	●●●に係るもの							
		1)	選定及び契約締結
		2)	評価委員会の設置					
		3)	指導、助言、進捗管理等				
(2)	○○○に係るもの							
		1)	有識者委員会の運営				
		2)	包括的調査事業の実施
	
			合計(工数)

【基礎点評価の観点】

・「2.1 事業実施計画」にて提案した事業実施方法を実現するために必要な工数を、募集要領における業務の中項目単位で事業従事予定者のクラス別(主任研究員、研究者等)の工数を記述されているか。

【4.2事業総額】

記述内容

- 「2.1 事業実施計画」にて提案した事業実施方法を実現するために必要な事業総額を、募集要領10. (1)経費の区分に応じて記載すること。
- 人件費及び再委託費に関する項目は「3.1実施体制」、「4.1事業実施に係る工数」に記載した内容と整合性を図ること。
- 総額は募集要領6. (3)予算規模の上限内に収めること。

- 記載している費目は例示。募集要領10. (1)経費の区分に応じて必要経費を記載すること。
- 総額は募集要領6. (3)予算規模の上限内に収めること。

記述例

区分	内訳	金額 (千円)	積算根拠
I 人件費		〇, 〇〇〇	
	主任研究員	〇, 〇〇〇	単価×時間
	研究員	〇, 〇〇〇	単価×時間
II 事業費		〇, 〇〇〇	
	①旅費	〇, 〇〇〇
	②会場費	〇〇〇
	③備品費(借料及び損料)	〇〇〇
	④補助職員人件費	〇, 〇〇〇	単価×時間
III 再委託費		〇, 〇〇〇	
	①株式会社〇〇	〇, 〇〇〇	再委託内容1
	②〇〇株式会社	〇, 〇〇〇	再委託内容2
IV 一般管理費		〇, 〇〇〇	(I + II) × 10%
小計		〇〇, 〇〇〇	(I + II + III + IV)
V 消費税		〇〇〇	小計 × 8% (消費税及び地方消費税)
総額		〇〇, 〇〇〇	(※総額は募集要領6. (3)予算規模の上限内に収める。)

【基礎点評価の観点】

- ・「2.1 事業実施計画」にて提案した事業実施方法を実現するために必要な事業総額が、募集要領10. (1)経費の区分に応じて記載されているか。
- ・人件費及び再委託費に関する項目が「3.1実施体制」、「4.1事業実施に係る工数」に記載した内容と整合性が図られているか。
- ・総額は募集要領6. (3)予算規模の上限内に収まっているか。

5.添付資料

【5.1提案した内容を詳細に説明するための資料】
